

2021.10.01

いつも心に刻める景色を創るために

特定非営利活動法人 子ども環境ネットワーク

2021年度 上半期報告

〔2021年4月1日～2021年9月30日〕



2021年夏 氣比の松原

ごあいさつ

コロナ禍の中、お変わりなく元気で過ごしていらっしゃるでしょうか？ この状況が一段落した時点で、皆さま方とお顔を合わせること楽しみにしております。

年初に立案した計画を概ね予定通り推進することができました。本年度は計画達成し、年度末に宴が開けることを抱負として邁進いたします。

代表理事 大丸洋一

1. 概況

本年度の上半期におきましては新型コロナウイルス感染症の影響により、移動やあらゆる活動が抑制される中で、当初計画を予定通り推進をすることができました。

1) プロジェクト

当初、「釧路プロジェクト」と「京都市エコ学区事業で廃止部分」の実施を計画しておりました。残念ながら、京都市エコ学区（みちづくり）事業は提案に対してレスポンスがなく、時間的に考えて本年度の取組みは断念いたしました。

京都市の活動は予定より小さくなりますが、安朱小学校と安朱学区に直接お話をさせていただき、次年度以降に当団体で SDGs 授業および釧路小との情報交換授業等の支援を行うことを了解いただき、中期計画への影響がない調整が取れました。

現在は、釧路プロジェクトの推進に力を入れており、11 月末以降の学習会実現に向けて準備がほぼ整いました。こちらは計画通り遂行しております。なお、釧路プロジェクトの詳細は「2. 事業報告」で紹介させていただきます。

2) ESD（Education for Sustainable Development）企画

ESD の実現のための企画作りを予定通り 7 月より開始いたしました。

我々の活動を、持続可能な形で活動し続けるために、「子どもたちの学習会」「地域での実現」「社会的基盤の変化」を時代に即した形の研究が必要になると考えております。そこで、我々の活動に若手の参加を促し、子どもたちが環境を守る行動を起こし続けるための、新たな価値観や行動を創り出す人財育成を行う予定です。

計画通り、次年度からテスト実施のため準備をしております。

2. 事業報告

団体の事業は以下の 3 つを取り組むことを、使命としております。

1) 学習支援事業

①安朱小学校へのアプローチ

本年度はコロナ禍の中で授業の予定を修正しつつ進めている状況です。その中で恒例の SDGs 授業は実施完了しております。

コンタクトは遅くなりましたが、本年度活動は小学校の依頼に即し、最終のまとめ（ポスターなどの Output）を支援いたします。また、次年度の総合学習には単元作成から参加していくことを確認しております。

② 釧路プロジェクト実施

釧路地域の小学校が力を合わせて、釧路湿原を守る取組みになります。釧路市教育委員会および小学校の支援があり、実現させることができました。

プロジェクトは3年計画で進めており、初年度の本年は、地域にある「春採湖」を題材に学習会の実施と保全行動のまとめ、次年度の「釧路湿原」保全に向けた内容整理を行う予定です。

上半期は学習会実施や保全行動作成の準備を行い、ほぼ終了することができました。

【釧路市立釧路小学校】



<プロジェクト上半期進捗状況>

- ・実施小学校決定：釧路市立釧路小学校
- ・企画テーマ決定：4年生総合授業「私の大切な春採湖」を守るため
- ・講師兼全体監修選任：
 - 京都大学大学院 深町准教授（分野：景観生態保全、環境デザイン）
- ・年間スケジュールと学習会内容の決定：
 - －学習会は年度内2回実施（11月末、2月中旬）
 - －Zoomによる遠隔授業、5名/グループの10グループで同時実施）
 - －ファシリテータ10名の確保（報酬なしボランティア）完了
- ・学習会予行演習
 - －学習会進行表作成完了
 - －講師、ファシリテータ参加の全体会 完了
 - －必要機材手配 完了
 - －本番想定の予行演習実施完了

<下半期作業>

- ・小学校側の機材、学習会スペースの確認
- ・小学校との児童対応ルール等の調整
- ・学習会実施2回

また、釧路プロジェクトの2年目のプログラム案の作成を開始しました。釧路湿原に直接入ることは難しいですが、生活の中で釧路湿原の保全をする小さな活動や環境破壊をするソーラー発電の抑止などを行うように、地域の小学校が力を合わせ、そこに京都市立安朱小学校の児童が加わり実施する予定です。

ただいま、国土交通省 釧路湿原自然再生協議会 会長：中村太士教授（北海道大学）からアドバイスをいただき、次年度の総合学習の単元作成までに提示する予定です。

<次年度のプログラム作成のための説明資料>



<https://www.ce-n.org/釧路取組p.j>

※上半期活動および下半期活動を支援いただくメンバーは以下の通りです。

ボランティアで参加いただいております。

（次年度以降も一緒に活動ができるように大事したいと考えています。）

- ・北海道大学 中村太士教授（釧路湿原自然再生協議会を初め多数団体に所属）
- ・ボランティアファシリテータ申請者 約20名

③子ども交流サイト構築

我々が開催する学習会（授業）が終了した後でも、引き続き子どもたち同士で話ができる基盤、興味のある活動を見つけ参加する基盤の構築を開始しております。今まで実施した京都と釧路の子どもたちが情報交換を本年度末に実現できることを目指して進めます。本年度の事業報告書での、ご報告を楽しみにお待ちしております。



<子ども環境ネットワーク 交流サイト>

2) 研究支援事業

この団体の活動が継続し、成長するために、子ども自身が繋がり意見交換をし、実現させる柔軟性のある基盤の構築が必要だと考えています。

そのために、この活動に取り組む若手の育成を行おうと、まずは学習支援活動に関するESDを開催できるように企画とプログラム作りに着手しました。計画通り、次年度にテスト実施（募集）ができるように進めております。

3) 環境保全支援事業

京都市では安朱学区で、3年前に子どもからの提案のあったフードドライブ実施を確認し、下半期実施のお手伝いいたします。次年度の子どもの提案の実現をお願いしております。

釧路では、地域や企業にご提案をするためのリストアップ中です。計画通り、次年度には企業等に子どもが提案する「行動提案」へ参加いただけるよう進行中です。

3. その他報告

1) 広報活動について

ただいま、情報発信を体系化させる対応をしております。URL と Facebook、インスタグラムを開設いたしました。皆様も積極的な発信よろしく願いいたします。

①URL : <http://ce-n.org>

NPO 法人子ども環境ネットワークのサイトとして展開
団体ポリシーやビジョン、活動状況が確認できるもの
寄付や会員募集も団体サイトから案内



②Facebook : <https://www.facebook.com/child.env.network/>

各プログラムの活動状況等を随時アップロードするもの。
HP へのアクセス数を増やし、PG 参加者や会員獲得につなげる



③Instagram : https://www.instagram.com/c_e_network/

「これからも残していきたい景色」をアップし、環境や子どもに何かしたいと考える人が集まれるものにする。
HP, facebook に誘導できるものにする。



4. 中長期計画（今後の展開）

当団体は、「大切な環境を、子どもたちで力を合わせて、守る行動を起こすこと」を目指しております。また、子どもたちの「守りたい景色」を守る活動は、自然保護活動に直結しており、将来の地球の「持続的な環境保全活動」になると信じています。

そのために、全国の子ども同士をネットワークを結び、意見交換ができる基盤を作っていくことを1つの目標と考えております。

このネットワークは、子どもたちが自分の意見を伝え、他人の意見を理解し、意見交換をすることで視野を広げ、さらに自分の考えをブラッシュアップしていきます。

そんな輪を順次広めていきたいと考えます。

<ロードマップ構想>



- ・ 2021 年開始の釧路プロジェクトは 3 年間をかけて、複数の地域の子どもが力を合わせて環境保全を実現することを目指します。
- ・ 2026 年以降は、更に子どもたちの視野が広がる取組みの実現を考えます。
 - ①環境先進国の子どもたちと意見交換をし、行動を考える活動を実現させる予定です。次年度には、準備を開始したいと思います。
 - ②日本の中の展開する方向性を作り、ロードマップを充実させ、次のプロジェクト展開を行います。
- ・ 2026 年～2030 年
 - ①子どもたちの行動提案が、企業の E S G 活動と合致し、より持続可能な環境保全と将来の誇れる景色の実現ができる仕組みを構築します。

以上

<子ども環境ネットワーク 交流サイトイメージ紹介>



<2021年10月 NPO 法人子ども環境ネットワーク制作>
〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83-1
「ひと・まち交流館 京都」2F 京都市市民活動総合センター内